

Tokyo International Gallery

Solo Exhibition

ANIMATE

Exhibition Period : 2026. 11. 7. Sat. – 12. 26. Sat.

Opening Reception : 2026. 11. 7. Sat. 16:00 – 19:00



2026
11 / 7
↓ ↓
12 / 26

Asuka Watanabe Solo Exhibition

ANIMATE

Animate means "to bring something to life" or
"to make something lively, active, or full of energy."

It can refer not only to give a life or movement,
but also to bring vitality, spirit, or a sense of liveliness
to a place, idea, object, or community.

Tokyo International Gallery、渡辺明日香による個展 「ANIMATE」を開催

株式会社 Tokyo International Gallery（品川・天王洲）では、2026 年 11 月 7 日（土）から 12 月 26 日（土）まで、渡辺 明日香による個展「ANIMATE」を開催いたします。

アートやデザイン、アートディレクションなど幅広い領域で制作を行ってきた渡辺は、2017 年から手がけている FUJI ROCK FESTIVAL のメインビジュアルでも知られています。活動は横断的でありつつも、動植物や風景を平面的でインパクトのある形と鮮やかな色彩で表現するスタイルには、一目でそれと分かる独自性があります。

明快な色と形で自然のモチーフを描いてきた渡辺にとって、命や精神を吹き込むこと、動きを与えることを意味する“animate”という言葉は活動に通底するテーマと言えるかもしれません。単なる素材から感覚に訴える作品を生み出す芸術家の行為は歴史の中でしばしば、自然に生命を吹き込む神の創造行為になぞらえられてきました。しかし、“animate”というテーマについて渡辺が関心を抱いているのは、何か動きはじめ、そこに生命感が生まれることそれ自体だといいます。それゆえ、本展においてこの言葉は、生命を一方向的に与える存在というよりも、作家と作品、作品と鑑賞者の間に生まれる多方向的な関係性を指すものとして理解できるでしょう。

本展の作品で渡辺は、複数の色面や形、モチーフを一枚の画面の中に配置し、全体を一つのビジュアルとして構成することを試みています。イメージ同士は画面の中で混じり合い、時としてその正体や境界は曖昧になっています。うねる線は山の稜線にも、水や大気の流れにも、あるいは装飾的なパターンのようにも見えます。“animate”と語源を同じくする別の言葉、アニミズム(animism)は、人間や動物、物や自然現象に至るまであらゆるものに魂が宿っているとする考え方を意味します。この意味で、有機的なものと無機的なもの、具象と抽象が混じり合った渡辺の作品から立ち現れてくるのは、アニメー魂や生命—そのものの感覚と言えるかもしれません。

色と形の構成から生命の感覚が立ち上がり、見る人に向かって開かれてゆく、ダイナミックな渡辺の作品世界を会場にてぜひご高覧ください。

= Exhibition Statement =

植物が伸びる。光が移り変わる。風が通り過ぎる。目に見えるものも見えないものも、まわりでは絶えず何かが動き、変化し続けている。

ANIMATE という言葉の語源をたどると、ラテン語の *anima* にたどりつく。息、生命、魂を意味する言葉だという。何かに息を吹き込むこと、それが動きはじめること、生命を与えること。それらはもともと、ひとつの言葉のなかにあった。

静止した絵の中で、色や形の配置、重なり、反復によって、画面の中に動きやリズムをつくり出すことに関心がある。見る位置や距離、その人の捉え方によって、形が動いて見えたり、別のものに見えてきたりする。

植物や鳥、星、光、風景など、身のまわりで目にしたものや記憶に残るイメージを出発点に、それらを色と形へと置き換えていく。具象的なものと抽象的なもののあいだを行き来しながら、静止した画面の中に時間や運動を生み出そうとしている。

本展の中心となる作品群には、ポスターを思わせる構成を取り入れている。本来、情報やメッセージを伝えるためのポスターに対して、ここでは特定の意味を提示するのではなく、色や形そのものが見る人に働きかける画面を試みた。

私にとって、つくることは、自分が世界から受け取った感覚に形を与えること、それを外へひらくことで、作品は自分の手を離れ、見る人それぞれの記憶や感覚と結びついていく。

ANIMATE は、静止した絵画の中に生まれる動きと生命感を探る展覧会である。



ARTIST PROFILE

渡辺 明日香 | Asuka Watanabe

長野県生まれ、東京を拠点に活動するアーティスト／アートディレクター。植物の成長や空、光、風景の移ろいなど、身のまわりに存在する自然のリズムを観察し、幾何学的な形態と鮮やかな色彩によって表現している。グラフィックデザインを背景に、絵画、壁画、インスタレーション、空間のための作品など、平面にとどまらない制作を展開。2017年よりFUJI ROCK FESTIVALのメインビジュアルを継続して手がけるほか、音楽、建築、ホテル、公共空間など、さまざまな領域でアートワークを制作している。



<BIOGRAPHY>

1985	長野県生まれ
2008	多摩美術大学 造形表現学部 デザイン学科 卒業
2008–2010	株式会社博報堂プロダクツ勤務
2010	独立、フリーランスとして活動を開始
2013–2015	ロサンゼルスに留学
2017–現在	FUJI ROCK FESTIVAL メインビジュアルを担当
2018–2022	WeWork Japan にて Art & Graphics Lead として勤務
2024–現在	東京・表参道の K ART GALLERY にてディレクション・キュレーションに関わる

<EXHIBITIONS>

【個展】

2022	「ROOM」 (No., 東京)
2022	「SAUNA NATURE FINLAND」 (神田ポート、東京)
2024	「Bloom」 (K ART GALLERY、東京)
2025	「Shapes of Rhythm」 (K ART GALLERY、東京)

【グループ展】

2020	「PARAPARADISE」 (VOID、東京)
2020	「No Planet No Fun, The Exhibition」 (WeWork アイスバーグ、東京)
2022	「(V)ALCHEMY LAB」 (UNKNOWN HARAJUKU、東京)

- 2023 「“Be It” curated by YOSHIROTTEN by GQ HYPE in collaboration with Johnnie Walker Blue Label」
(Spiral Hall、東京)
- 2024 「大ネオン展 -FIND NEW WAVE-」 (Tower Gallery、東京)
- 2024 「INTERACTION」 (Letterbox、バンクーバー)
- 2026 「1620×1120×35×1」 (K ART GALLERY、東京)

<OTHERS>

- 2016 A' Design Award & Competition (Advertising, Marketing and Communication Design Category) Golden
A' Design Award 受賞：“GARAGARA Summer Festival”グラフィックデザイン・イラストレーション
- 2022 Arteles Creative Center (フィンランド) にてアーティスト・イン・レジデンス



■ 開催概要

- ・タイトル : ANIMATE
- ・出展作家 : 渡辺 明日香
- ・会場 : Tokyo International Gallery
- ・住所 : 東京都品川区東品川 1-32-8 TERRADA ART COMPLEX II 2F
- ・開催期間 : 2026 年 11 月 7 日 (土) – 2026 年 12 月 26 日 (土)
- ・時間 : 10:00 – 19:00
- ・休廊日 : 日曜、月曜、祝日 (火曜日は事前予約制)

■ オープニングレセプション

- ・開催日 : 2026 年 11 月 7 日 (土) 16:00 – 19:00 (入場無料・予約不要)
- ・会場 : Tokyo International Gallery

【 お問合せ先 】

株式会社 Tokyo International Gallery

代表取締役 島村航介

info@tokyointernationalgallery.co.jp